

昼下がりのフラメンコと大人のロック

～モニュメント「記憶としての構造 2015」活用イベント～



モニュメント「記憶としての構造 2015」



制作者近影

2019年3月21日(祝日)

午後1時00分～(約2時間)

観覧:無料(※雨天の場合は中止です)

会場:佐野市高砂町1番地

佐野市役所南側モニュメント周辺

日差しが心地よい、春の昼下がり
に、心地よい音楽とフラメンコを
ご堪能ください。

このイベントは市民の皆様に、文化・
芸術を身近に感じていただくため、モ
ニュメントを活用した事業の第3弾とし
て、音楽と舞踊とのコラボレーションを
目指すものです。

吉本義人氏 略歴

1946	東京都生まれ
1969	東京藝術大学彫刻科卒業、現代国際彫刻展、彫刻の森美術館 個展、ときわ画廊、東京
1975、76、80、82-86	Far East Center展、ときわ画廊、東京/寛勲美術館、ソウル
1978、79、85	佐野市にて制作を始める
1981~	日本金属造形作家展、和光/東京ドイツ文化センター
1983、84、86、97	北関東美術展、栃木県立美術館、日本金属造形展 Kunsthau Hamburg、ハンブルグ
1983	鉄による都市彫刻大賞展(都市彫刻賞)、愛知県東海市 個展、東邦画廊、東京
1989	東京野外現代彫刻展(優秀賞)砧公園、東京
1991、93、95、99	フジサンケイ・ビエンナーレ現代国際彫刻展(大賞)
1992	個展、Just Art Galerie、ベルリン
1995	個展、Galerie Grand Paris、パリ
2000	個展、Galerie der Firma O. T. B、ベルリン
2001	個展、Galerie Lichtblick、ベルリン 個展、藤野屋画廊
2002	第10回世界環境芸術会議環境造形コンクール(優秀賞)
2011	個展、佐野市文化会館
2012	館林ジャンクション-中央関東の現代美術、群馬県立館林美術館
2013	みる、ふれる、きくアート、栃木県立美術館
2013~2018	R293美術展、佐野市文化会館

<主なコレクション>

美ヶ原高原美術館(長野)、弘益大学博物館(ソウル)、東京グリーンホテル(東京)、静岡グランドホテル(静岡)、東海市役所(愛知)、足尾通洞駅(栃木)、長野放送(長野)、東大和市湖畔第一緑地(東京)、麻布学園(東京)、社会福祉法人江東園(東京)ほか多数

主催:公益財団法人 佐野市民文化振興事業団



モニュメント「記憶としての構造 2015」活用イベント

「昼下がりのフラメンコと大人のロック」 次第

1. 開 式

2. モニュメント制作者あいさつ

彫刻家 吉本 義人 様

3. 出 演

ロックバンド 艱難辛苦 (かんなんしんく)

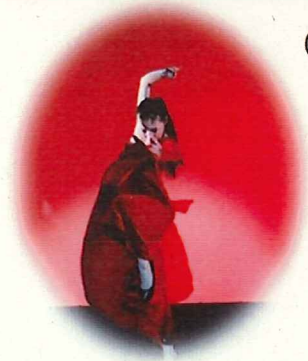
(演奏曲目)

- 1 ライブオープニング 艱難辛苦テーマ曲
- 2 国道50号線
- 3 東武佐野線
- 4 渡良瀬橋(カバー)
- 5 イモフライ
- 6 青竹ロックンロール
- 7 もうひとつの国道50号線



フラメンコ サンセレッソ

(プログラム)



- 1 セビジャーナス
- 2 アレグリアス
- 3 プレリアス
- 4 タンゴス
- 5 ガロティン
- 6 プレリアス
- 7 セビジャーナス

4. 閉 式